

# 宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

平成27年7月～9月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

平成27年10月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

平成 27 年 7 月～9 月期

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内 10 商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市、大河原町、みやぎ仙台、くろかわ、加美、  
遠田、若柳金成、みやぎ北上、石巻かほく、本吉唐桑
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 147 企業

### 2. 調査対象期間

平成 27 年 7 月～9 月期を対象として、調査時点は平成 27 年 9 月 1 日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 2
建 設 業	2 5
小 売 業	4 5
サービス業	4 5
合 計	1 4 7

### 5. そ の 他

本報告書中の D I とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

県下商工会地区における今期(平成 27 年 7 月～9 月期)の調査において、産業全体の業況D I (前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より△5.3 ポイント悪化し△31.7 (前期△26.4) となった。産業別にみると、製造業は△31.2 (前期△15.1) と△16.1 ポイント悪化、建設業が△4.0 (前期△12.0) と 8.0 ポイントの改善、小売業では△56.1 (前期△46.4) と△9.7 ポイント悪化、サービス業では△25.0 (前期△24.4) と△0.6 ポイントの若干の悪化であった。

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 売上額(完成工事額)の状況

売上額(完成工事額) D I では、全体として今期は前期(H27年4月～6月期)に比べて悪化した。産業別にみると、製造業は△15.6 (前期△21.2) で5.6ポイント改善、建設業は△16.0 (前期△24.0) で8.0ポイント改善したが、小売業で△48.8 (前期△44.2) と△4.6ポイント悪化、サービス業では△33.4 (前期△17.8) と△15.6ポイント悪化した。

### ② 採算の状況

採算D Iについては、全体として今期は前期に比べて若干改善した。産業別にみると製造業で△28.1 (前期△33.3) と5.2ポイント改善、建設業は△16.0 (前期△24.0) で8.0ポイント改善、小売業は△57.8 (前期△47.5) で△10.3ポイント悪化、サービス業では△24.4 (前期△31.2) と6.8ポイント改善した。

### ③ 設備投資の状況

新規投資の実施比率は、製造業では15.6%で前期と変わらず、建設業では8.0%で前期比△8.0ポイント減少、小売業では9.1%と前期比6.7ポイント増加、サービス業では11.1%で前期比4.3ポイント増加した。

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

H27年9月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は製造業が前期（6月調査）と同じゼロ、非製造業は△1ポイント悪化のプラス3だった。先行きは製造業が△2ポイント悪化のマイナス2、非製造業は△2ポイント悪化のプラス1だった」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業、建設業で改善したが、小売業、サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国、東北との売上額D I比較では、製造業で全国、東北以下、建設業はほぼ全国、東北並み、小売業・サービス業で全国、東北以下であった。

表一 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 9.3	△ 11.8	△ 24.6	△ 14.2	△ 21.2	△ 15.6
建 設 業	△ 14.7	△ 16.4	△ 21.5	△ 16.0	△ 24.0	△ 16.0
小 売 業	△ 30.6	△ 31.0	△ 39.4	△ 33.1	△ 44.2	△ 48.8
サービス業	△ 18.0	△ 19.9	△ 29.3	△ 28.2	△ 17.8	△ 33.4

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業、建設業、サービス業で改善したが、小売業で悪化した。今期の宮城の全国、東北との採算D I比較では、宮城は建設業とサービス業で全国、東北を上回る一方、製造業と小売業で全国、東北以下であった。

表二 採算の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 19.6	△ 19.5	△ 35.8	△ 25.9	△ 33.3	△ 28.1
建 設 業	△ 20.2	△ 24.0	△ 28.0	△ 21.1	△ 24.0	△ 16.0
小 売 業	△ 34.2	△ 33.8	△ 39.0	△ 42.4	△ 47.5	△ 57.8
サービス業	△ 24.2	△ 25.2	△ 32.5	△ 31.5	△ 31.2	△ 24.4

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（27年10月～12月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で2.7ポイント改善、建設業で△12.0ポイント悪化、小売業で8.8ポイント改善、サービス業で0.8ポイントの改善見通しとなった。採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で1.4ポイントの改善、建設業で横ばい、小売業で13.6ポイントの改善、サービス業では△3.5ポイントの悪化見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では、売上は全国の悪化見通しに対し宮城は改善方向の見通し、採算では全国と同じく改善見通しとなった。建設業では、売上は全国を上回る悪化見通し、採算では全国の若干の悪化に対し横ばい見通しとなった。小売業では、全国が売上、採算ともほぼ横ばいであるのに対し共に改善見通しとなった。サービス業では、売上では全国が若干の悪化に対し宮城は若干の改善、採算は逆に全国が若干の改善、宮城は悪化となった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 11.8	△ 13.9	△ 15.6	△ 12.9
建設業	△ 16.4	△ 20.8	△ 16.0	△ 28.0
小売業	△ 31.0	△ 31.4	△ 48.8	△ 40.0
サービス業	△ 19.9	△ 21.6	△ 33.4	△ 32.6

表－4 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 19.5	△ 17.8	△ 28.1	△ 26.7
建設業	△ 24.0	△ 22.4	△ 16.0	△ 16.0
小売業	△ 33.8	△ 33.0	△ 57.8	△ 44.2
サービス業	△ 25.2	△ 24.0	△ 24.4	△ 27.9

## 2. 県下産業別の景況

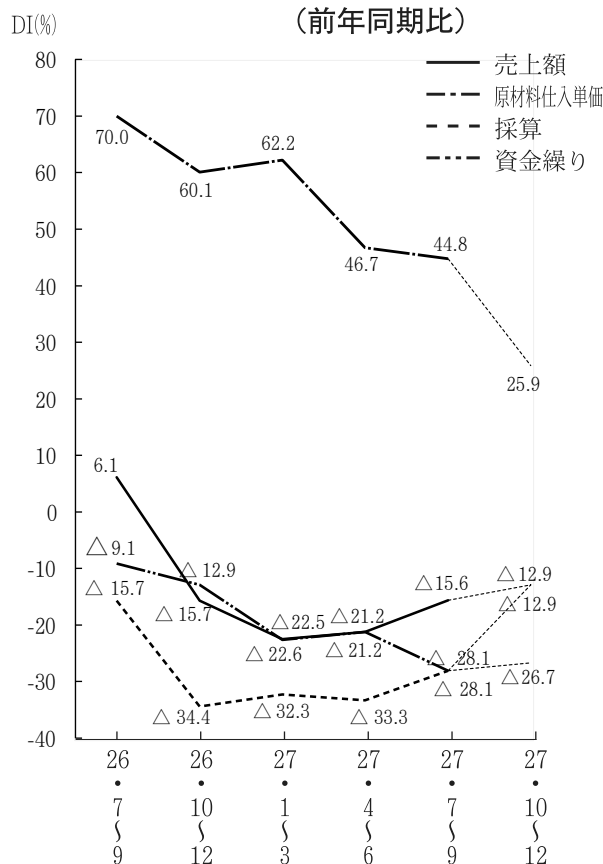
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△15.6（前期△21.2）となり5.6ポイント前期より改善し、採算D Iは今期△28.1（前期△33.3）で5.2ポイントの改善、資金繰りD Iは今期△28.1（前期△21.2）で△6.9ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期44.8（前期46.7）と△1.9ポイント低下し、来期も引き続き改善の見通しであり、原材料の高騰状況は相対的には緩和の方向にある。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



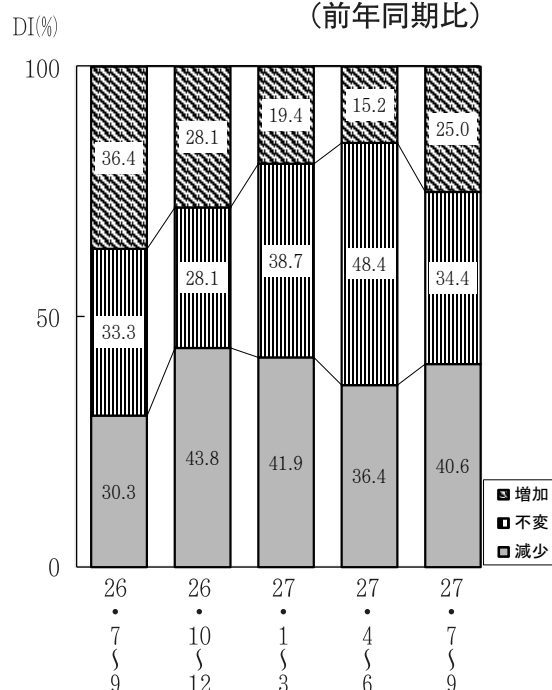
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の25.0%（前期15.2%）と9.8ポイント増加し、「減少」と回答した企業も40.6%（前期36.4%）と4.2ポイント増加した。

結果として売上（加工）額D Iは△15.6（前期△21.2）となり前期比5.6ポイント改善した。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)

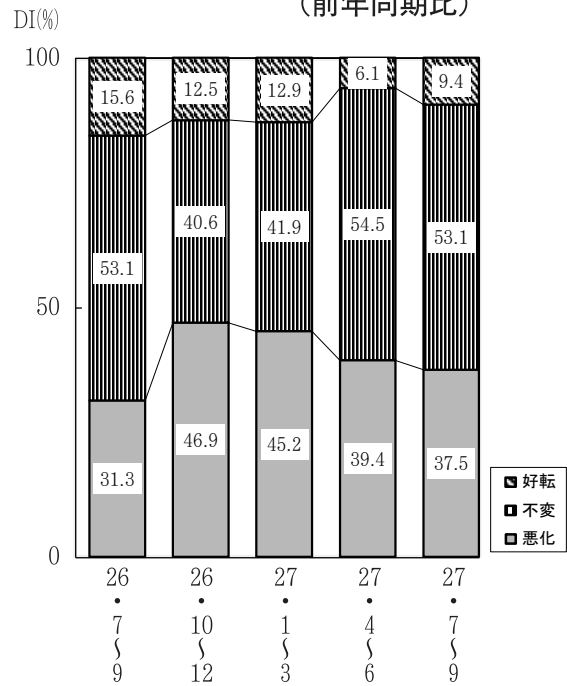


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 9.4% (前期 6.1%) で 3.3 ポイント増加し、「悪化」と回答した企業は 37.5% (前期 39.4%) で△1.9 ポイント減少した。

その結果、採算 D I は△28.1 (前期△33.3) で前期比 5.2 ポイント改善した。

図 1 - 3 採算の状況 (前年同期比)



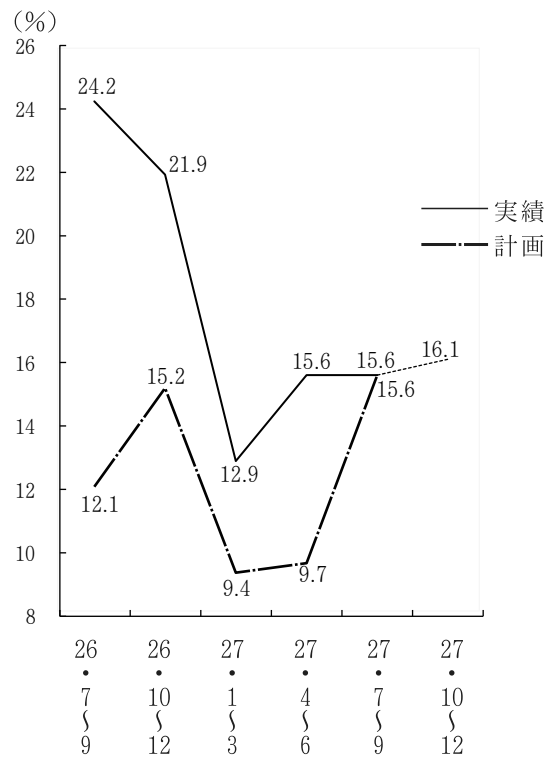
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は、全体の 15.6% (前期 15.6%) で前期と同じであった。

その設備内容は、土地、工場建物、生産設備、車両・運搬具、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 16.1% で、その設備内容は工場建物、生産設備、車両・運搬具となっている。

図 1 - 4 設備投資の状況

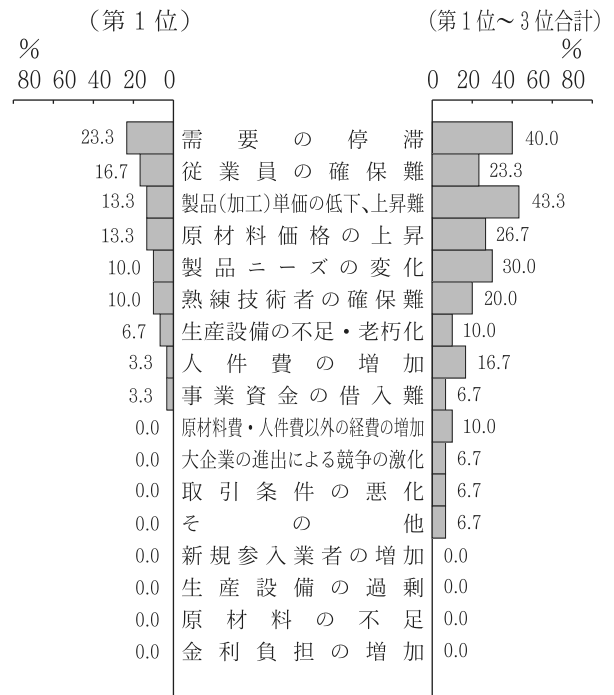


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」の23.3%で、次いで「従業員の確保難」が16.7%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」、「原材料価格の上昇」が13.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「製品(加工)単価の低下、上昇難」が最上位で43.3%(複数回答計、以下同じ)、次いで「需要の停滞」が40.0%、「製品ニーズの変化」が30.0%と続いた。

図1-5 経営上の問題点



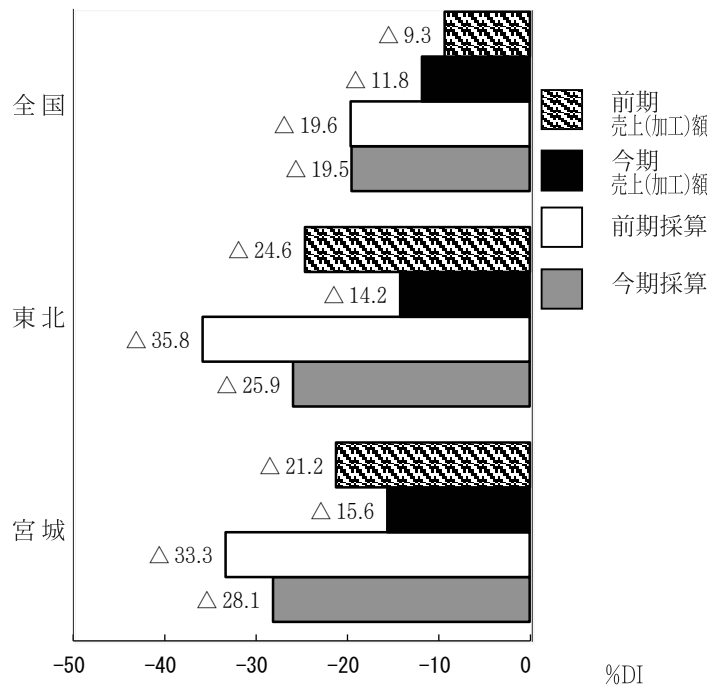
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上(加工)額DIでは、全国で悪化、東北、宮城で改善し、改善度は東北、宮城の順であった。

採算DIの比較では、全区分で改善し、改善度は東北、宮城、全国の順であった。

本県回答事業者からは「作業効率のアップと従業員スキルの向上により、多少ではあるが売り上げが上昇」(電子機器組立業)、「受注は増加傾向だが人手不足の状態」(生活関連工業)などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)





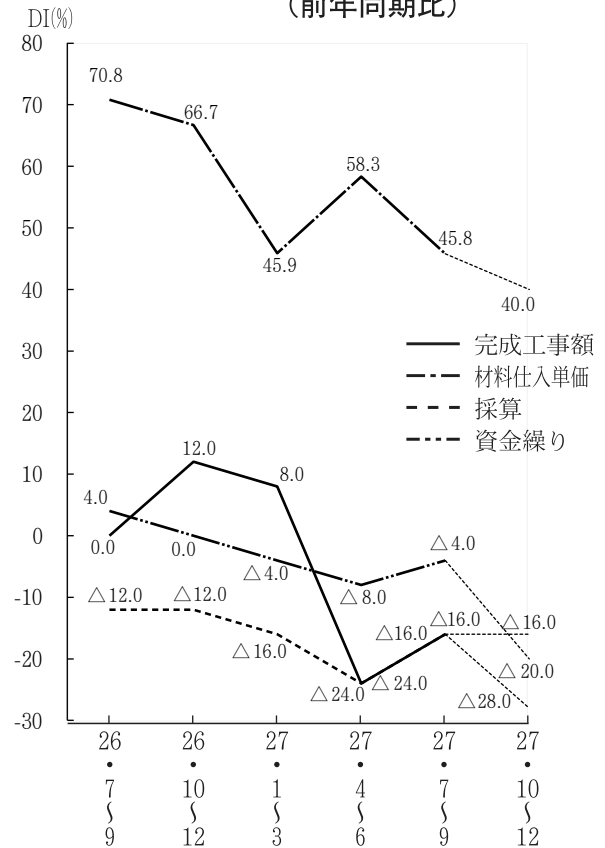
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△16.0（前期△24.0）と前期より8.0ポイントと改善、採算D Iも今期△16.0（前期△24.0）で8.0ポイント改善、資金繰りD Iも今期△4.0（前期△8.0）と4.0ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期45.8（前期58.3）と前期より△12.5ポイント下落、改善した。

図2-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



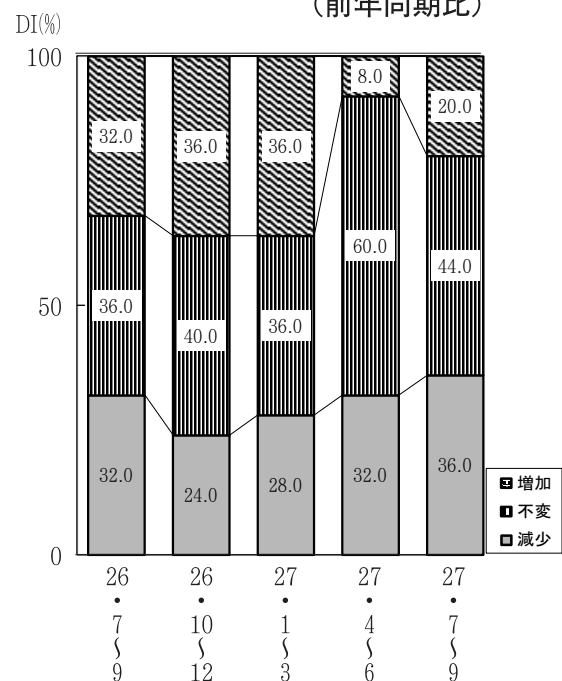
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の20.0%（前期8.0%）で12.0ポイント増加、「減少」と回答した企業は36.0%（前期32.0%）と4.0ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△16.0（前期△24.0）と8.0ポイント前期より改善した。

図2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

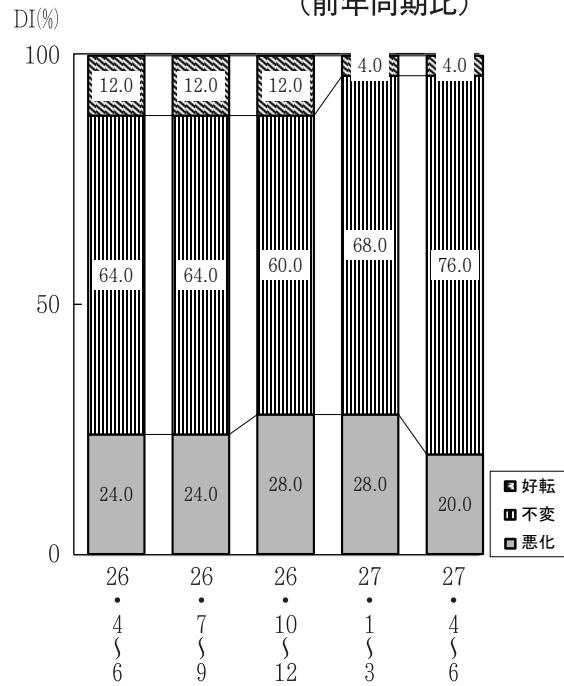


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 4.0% (前期 4.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 20.0% (前期 28.0%) で△ 8.0 ポイント減少した。

その結果、採算 D I は△ 16.0 (前期△ 24.0) で前期より 8.0 ポイント改善した。

図 2 - 3 採算の状況 (前年同期比)



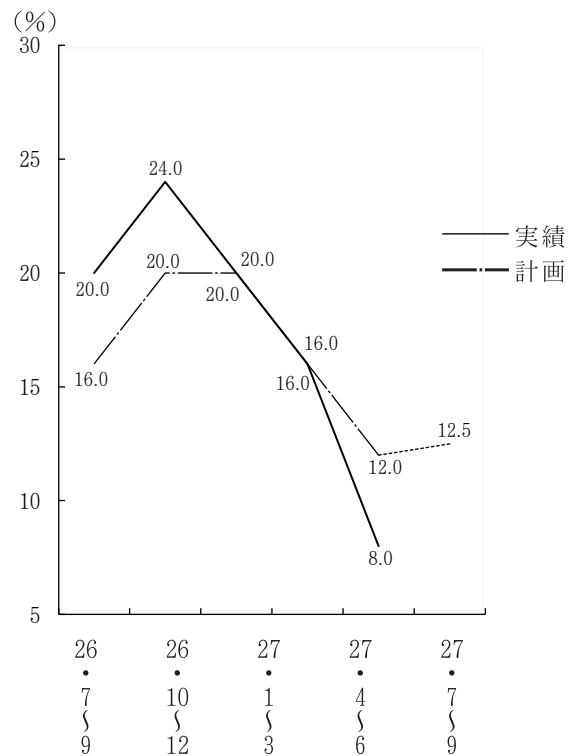
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は、全体の 8.0% (前期 16.0%) で前期より△ 8.0 ポイント減少した。

その設備内容は土地、建設機械、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は、全体の 12.5% で、その設備内容は建物、建設機械、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設となっている。

図 2 - 4 設備投資の状況

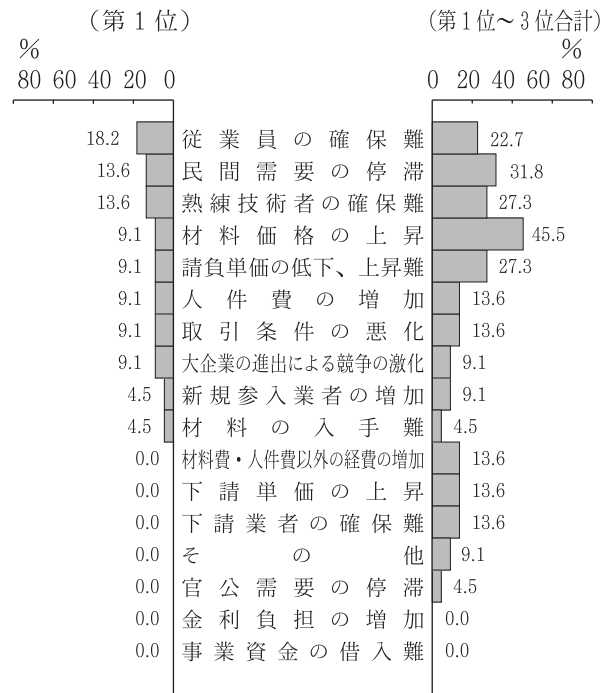


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「従業員の確保難」の18.2%で、「民間需要の停滞」と「熟練技術者の確保難」が同率13.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、最上位が「材料価格の上昇」で45.5%(複数回答計、以下同じ)、次いで「民間需要の停滞」が31.8%、「熟練技術者の確保難」と「請負単価の低下、上昇難」が同率27.3%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



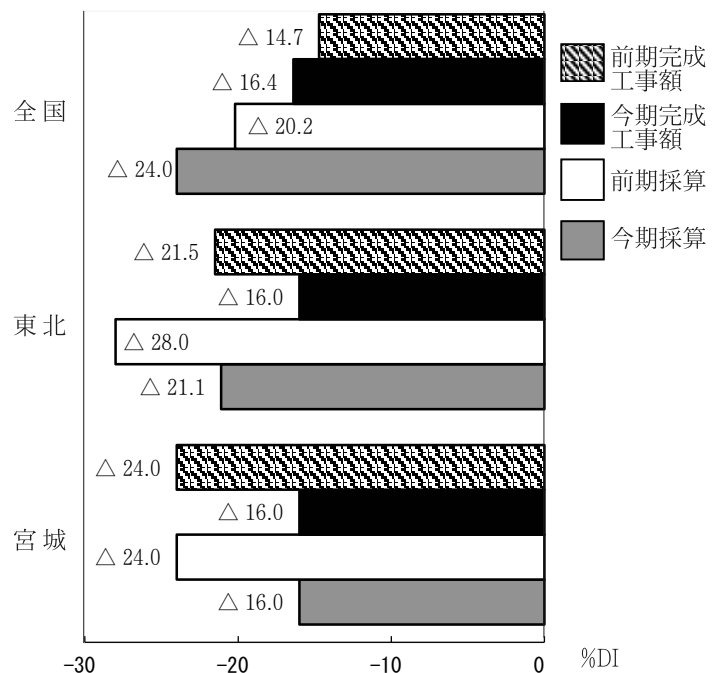
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では売上額D Iは、全国で若干の悪化、東北と宮城で改善し、改善度は宮城、東北の順であった。

採算D Iでも、全国で悪化、東北と宮城で改善し、改善度は宮城、東北の順であった。

本県回答事業所からは「震災復興関連の受注により業況良好。ただし長期的な見通しは不明」とのコメントや、「消費税の増税後、民間需要が急激に悪化の傾向にあり、請負数及び請負単価の低下が著しい」とのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城売上完成工事額・採算比較(前年同期比)



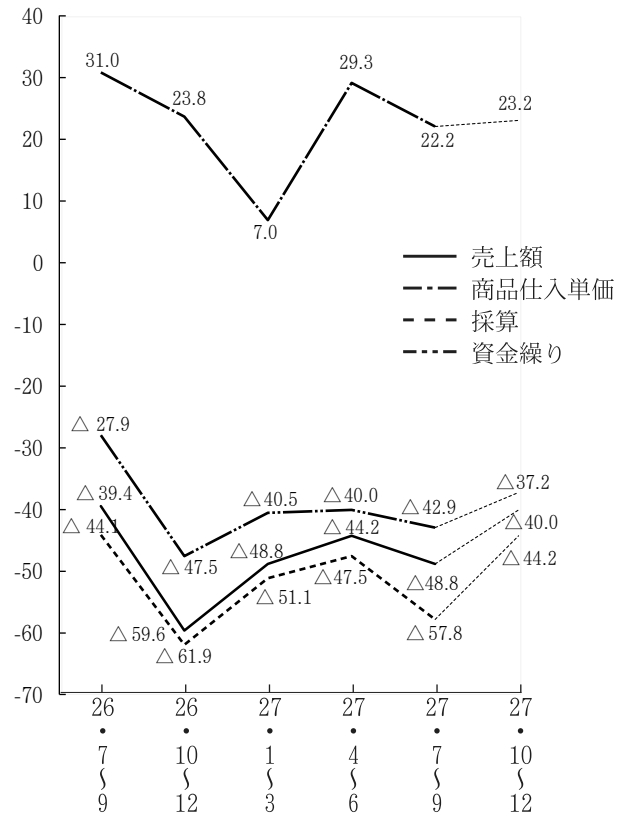
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△48.8（前期△44.2）と△4.6ポイント悪化し、採算D Iも今期△57.8（前期△47.5）で△10.3ポイント悪化、資金繰りD Iも今期△42.9（前期△40.0）で△2.9ポイントの悪化と、いずれも前期に比べ悪化した。

商品仕入単価D Iは今期22.2（前期29.3）となり△7.1ポイント下落、改善した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



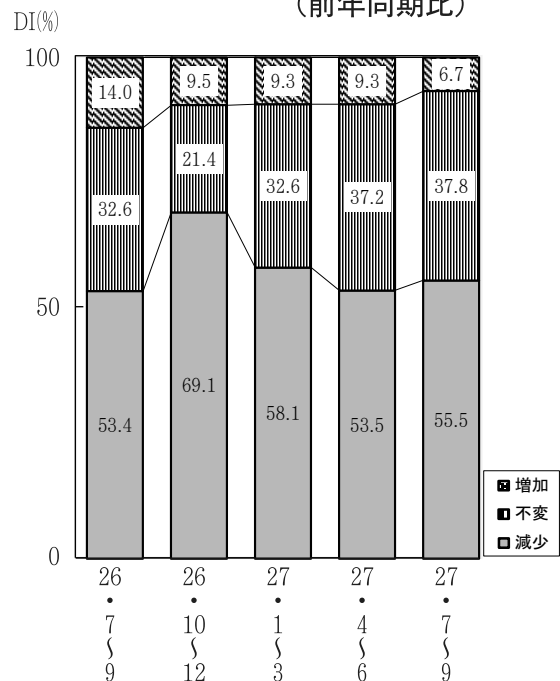
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の6.7%（前期9.3%）と△2.6ポイント減少、「減少」の回答は、今期は全体の55.5%（前期53.5%）で2.0ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△48.8（前期△44.2）と△4.6ポイント前期より悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

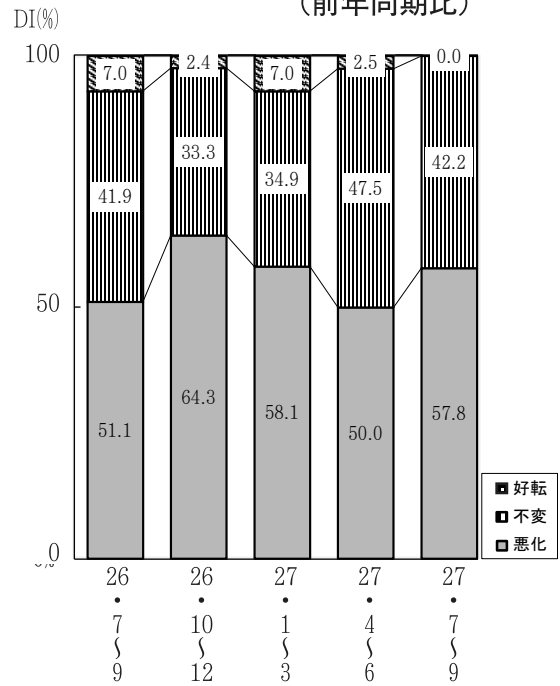


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%（前期2.5%）と△2.5ポイント減少、「悪化」の回答は、今期は全体の57.8%（前期50.0%）で7.8ポイント増加した。

その結果、採算DIは、今期△57.8（前期△47.5）で前期より△10.3ポイント悪化した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



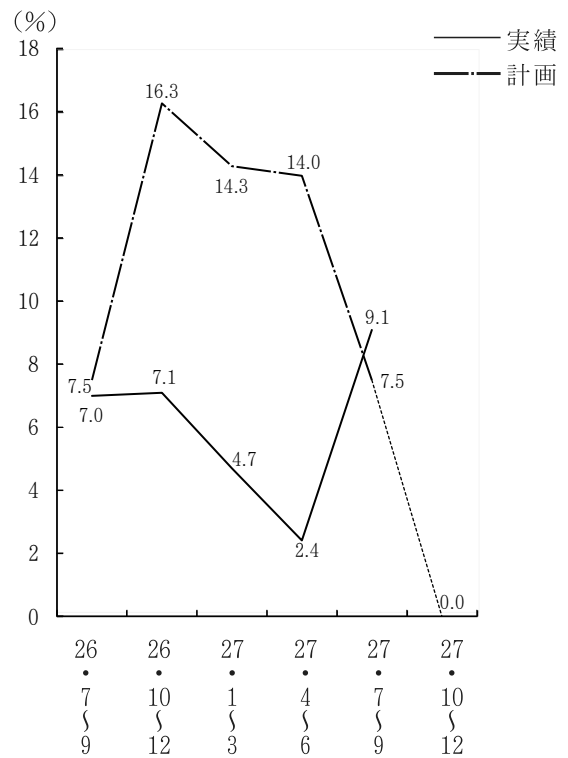
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.1%（前期2.4%）で、前期より6.7ポイント増加した。

その設備内容は販売設備、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業は0.0%と、全ての設備内容で投資計画がない見込となっている。

図3-4 設備投資の状況

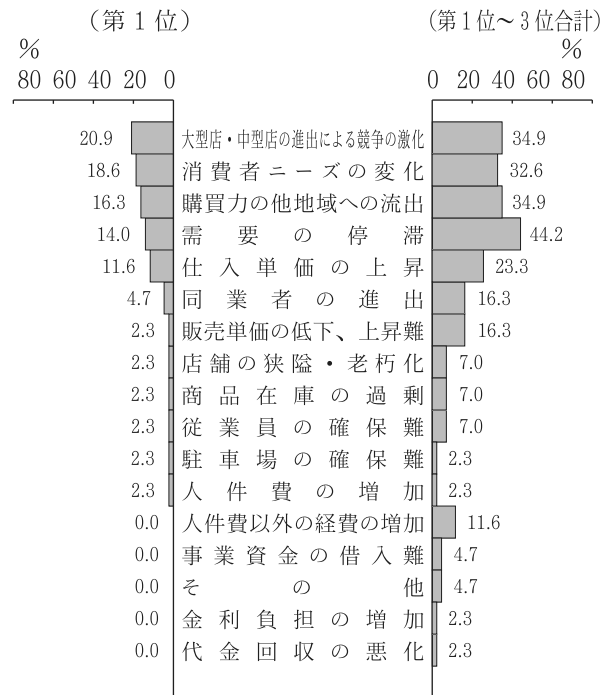


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」で20.9%、「消費者ニーズの変化」が18.6%、「購買力の他地域への流出」が16.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「需要の停滞」(44.2%(複数回答合計、以下同じ))が最上位で、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「購買力の他地域への流出」が同率34.9%で続いた。

図3-5 経営上の問題点

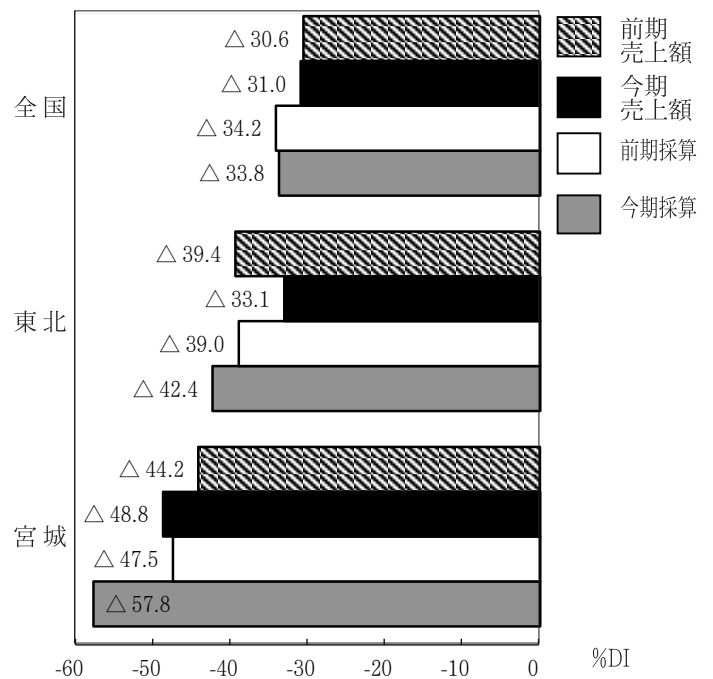


③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全国で若干の悪化、東北で改善、宮城で悪化となった。採算DIでは全国で若干の改善、東北と宮城で悪化した。悪化度は宮城が東北を上回った。

本県回答事業所から「販売数量は停滞しているが、高級品志向になってきて売上上昇に寄与している。また副業のリフォーム関連の売り上げが増加」(光熱機器販売)、「他地域の大型・中型店の多数出店により消費者の多くが他地域へ流出」(靴販売)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



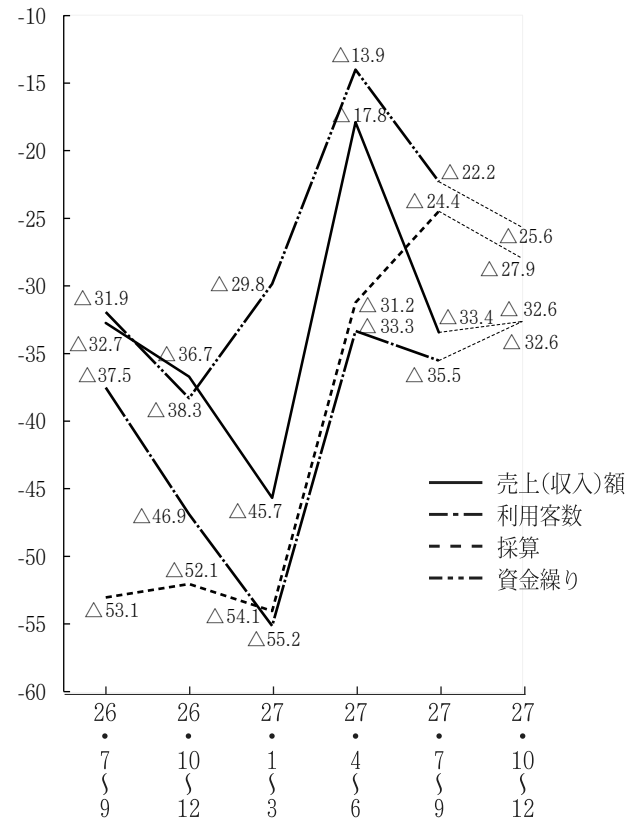
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらし

売上（収入）額D Iは今期△33.4（前期△17.8）で△15.6ポイント悪化、採算D Iは今期△24.4（前期△31.2）で6.8ポイント改善、資金繰りD Iは今期△22.2（前期△13.9）と△8.3ポイント悪化した。

利用客数D Iは今期△35.5（前期△33.3）で△2.2ポイント低下した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



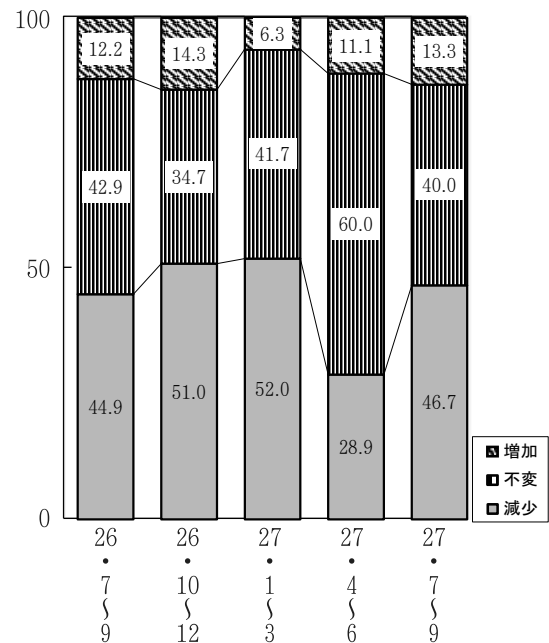
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の13.3%（前期11.1%）で2.2ポイント増加、「減少」の回答も今期46.7%（前期28.9%）で17.8ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△33.4（前期△17.8）で前期より△15.6ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

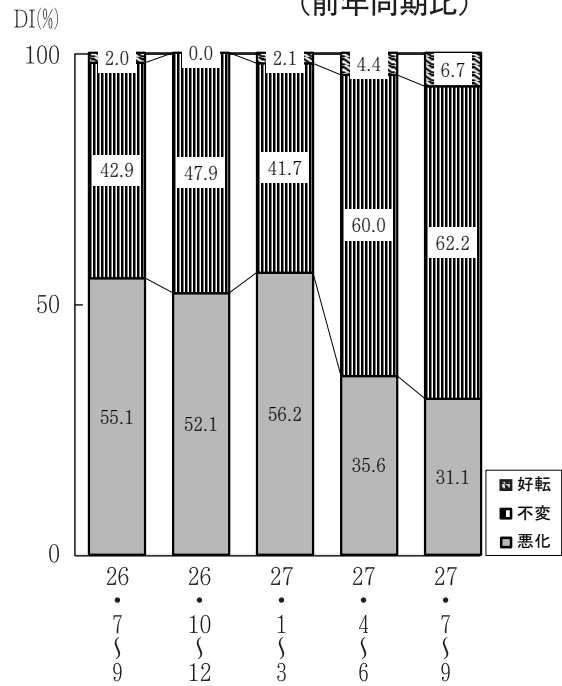


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の6.7%（前期4.4%）で前期比2.3ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期31.1%（前期35.6%）と△4.5ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△24.4（前期△31.2）で前期より6.8ポイント改善した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



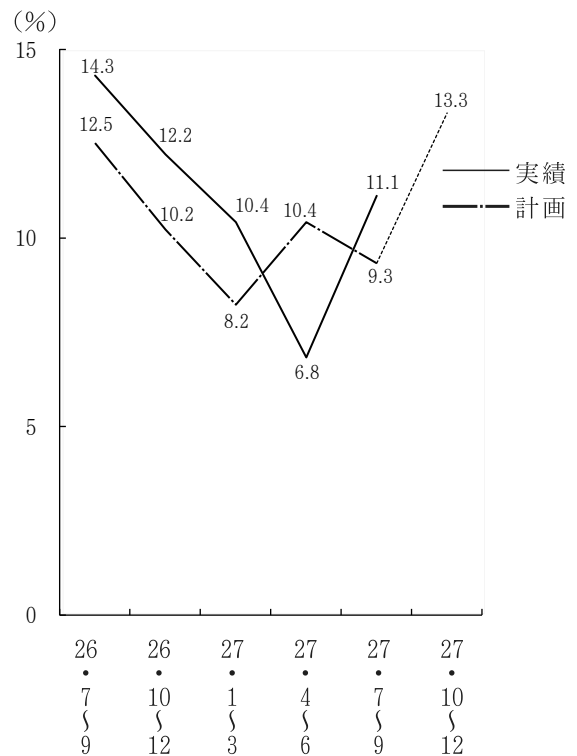
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は、今期は全体の11.1%（前期6.8%）で前期より4.3ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は13.3%であり、その内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況



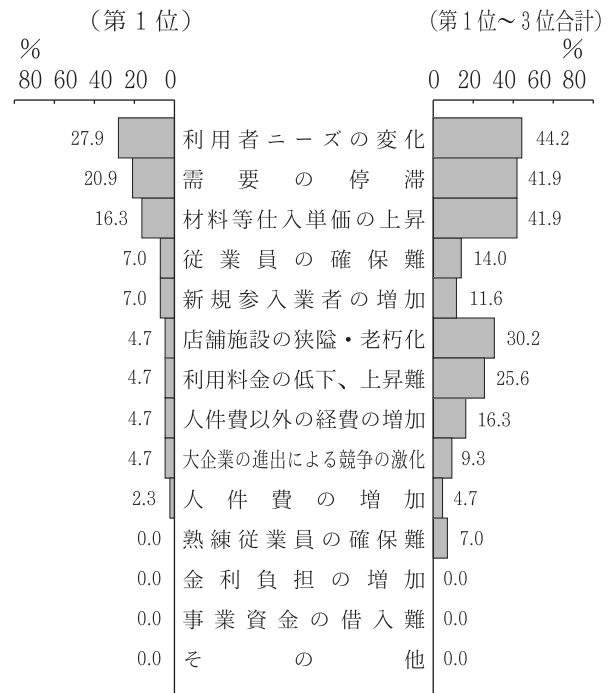


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「利用者ニーズの変化」(27.9%)で、次いで「需要の停滞」(20.9%)、「材料等仕入単価の上昇」(16.3%)が続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「利用者ニーズの変化」(44.2% (複数回答合計、以下同じ))が最上位で、「需要の停滞」と「材料等仕入単価の上昇」が同率(41.9%)で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上DIは、全国で若干の悪化、東北で若干の改善、宮城で悪化となった。採算DIは全国で若干の悪化、東北で若干の改善、宮城で改善となった。

本県回答事業所からは「新規参入のお店が増加し対応が難しい」(飲食業)とのコメントや、「今後も仕入れ価格の上昇が考えられるが、固定客もいるため料金設定の見直しが困難。また新規の顧客開拓のアイデアがなく悩んでいる」(理容業)とのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

